

遠隔で保管場所特定

日立ソリユ・クリエイト 在庫管理システム

【横浜】日立ソリユ・クリエイトが、遠隔で保管場所を特定可能にする。12月1日に出荷開始予定。2024年までに累計5億円の売り上げを目指す。新システムのラ

1台当たり500万円（消費税抜き）。デバイスごとのライセンス料も別途必要で、1台当たり30万円（同）。タブレット端末やスマートフォンといったモバイル機器でRFIDタグやバーコード、2次元コード「QRコード」を読み取ることで、登録情報を確認した上での出庫作業などができる。入庫した本人以外でも迷わず在庫置き場に向かうことができ、リードタイム削減につながる。9日から東京ビッグサイト（東京都江東区）で開かれる展示会「IoT Japan 2019」に同製品を出展する。

【横浜】日立ソリユ・クリエイト（東京都品川区、竹田広光社長、03・5780・6111）は、タブレット端末や無線識別（RFID）タグなど

を活用した在庫管理システム「ヤード管理システム」を開発した。倉庫への入庫時に製品の仕様や置き場などの情報をRFIDタグなどとともに付けて登録

し、遠隔で保管場所を特定可能にする。12月1日に出荷開始予定。2024年までに累計5億円の売り上げを目指す。新システムのラ

イセンス料はサーバー

「IoT Japan 2019」に同製品を出展する。